

“みんなでつくる”義農公園再整備ニュースレター vol.3

1. 第3回ワークショップ開催！

テーマ⇒未来：新しい義農公園で活躍する人と管理方法

第3回では「未来：新しい義農公園で活躍する人と管理方法」をテーマに、まず前半でグループワークを行いました。これまでに出了た“やりたいことリスト”から思いに近いものを選び、「自分たちならできそう」「関われる」という視点で活動イメージを具体化しました。さらに「いいね！自分もできそう！関わりたい！」シールで投票し、どの活動に特に関心が集まっているのか、公園に求められる活動の傾向が浮かび上がりました。

後半では、公園運営の考え方や水辺整備・神社敷地の課題など、これからの義農公園を支える管理方法についてインプットを共有。そのうえで、「みんなでつくる」公園に対して自分がどの立場（運営者・協議会・自治会・新義農顕彰会（仮）など）で関われるか町から説明・提案する時間を設け、整備後の未来に向けた多様な関わり方のイメージを深めました。

2. 開催概要

日時：令和7年12月9日（火） 18:30～20:30 会場：松前町役場 2階会議室

参加者：20名（子育て・現役世代／大学生／地元区長／シニアほか）

アドバイザー：22名（伊予高生・地元関係団体・設計者ほか）

3. グループワーク「自分なら何ができる？」

「いいね！自分もできそう！関わりたい！」（投票結果：TOP5）



順位	やってみたいこと	ジャンル	自分たちができそうなこと (他ジャンル重複含む)	投票数
1	芝生でごろごろできる広い緑地	③くつろぎ・居場所	清掃（ゴミ拾い）、芝生の手入れ、本・遊ぶものの貸し出し、日向ぼっこなど、ヨガ、English exercise classなど	19
2	タコのすべり台の“安全に配慮した”現代版リメイク	①遊び（遊具）・チャレンジ	イルミネーション、アート化、見に行くなど	17
3	ライトアップ（夜の安心・滞在環境整備）	③くつろぎ・居場所	点灯式、クリスマス飾りの持ち寄り、SNS投稿、大学生に広めるなど	15
	義農神社活用（忠霊塔の再編と歴史空間の整理）	⑤歴史・文化・自然	クイズづくり、小学生向けイベントで説明、情報発信、有志を集めて改修	15
4	ボール遊び（色々なスポーツと遊び）	②健康・スポーツ	道具の貸し出し、キャッチボール、ホッケーを教える、壁あて（サッカー）、バスケ	14
5	飲食（飲食スペースとイベントの一体化）	④交流・にぎわい（防災）	カフェ・コーヒーの提供、ビアガーデン（ビールを作る）、はだか麦料理の提供、弁当販売、健康バイキング・食育イベント、料理教室など	13
	防災（イベント・情報発信など）	④交流・にぎわい（防災）	避難経路の確認表示、防災イベント、液状化の模型作成など	13

4. 事務局コメント

「自分なら何ができるか」を考え、投票したことで、公園に求められる機能や活動のイメージがより具体的になりました。特に、道具の貸し出しや情報発信など、町だけでは担えない“運営の仕組み”への期待が多く、管理のあり方が重要であることも改めて共有されました。また、「みんなでつくる」ためには、住民・団体・自治会・事業者など、多様な立場がそれぞれ関われることを説明しました。こうしたアイデアを現実化するには、整備後も継続的に立場を超えた対話の場が必要です。今の前向きな流れを地域で育てていくためにも、話し合いや活動を今後どう発展させるかが大切だと感じています。次回はいよいよ最終回、「模擬ルールづくりワークショップ」です。これまでの議論を踏まえ、みんなが使いやすい義農公園の“新しいルール”を一緒に考えていきましょう。

